

# 緊急時対策「備あれば憂いなし」の方針で



雨水貯留施設工事(役場)

総務常任委員会

- Q** 車両の運行管理をどうしているか。
- A** 現在29台管理している。申請を受けた時点で使用目的に従ってそれに見合った車両を配車している。
- Q** 新潟中越地震を教訓に600万円の備蓄用補正予算を計上しているが、町の現状は、防災対応の備蓄機材として、
- Q** 土のう・スコップなどを備えており、今後は孤立する集落等を想定しながら備蓄を考えた。
- Q** 役場時間外(残業)事務処理についてどのように指導しているか。
- A** 今年は特に災害や熊対応などがあつたことや、また係の細分化も原因と考えている。機構改革による横の協力体制と、適正配置と共に時間内事務処理の目的意識を持つよう指導している。
- Q** 役場庁舎前の雨水貯留施設の利用方法と今後の計画は。
- A** 集中豪雨時に対する施設で、今のところ他の利用方法は考えていない。今後は学校など公共施設の整備においても参考にしたい。
- Q** 立山の救急分遣所が室堂平に移転したがその違いは。
- A** 今年度は37件あつた。ほとんどは軽い病気であり、大きな違いは無いが、職員の勤務地が遠い分、負担になった。なお、重症患者は県のへりて搬送している。

# 心豊かに、孔て人も街も大切に

文教厚生常任委員会



活用が待たれる上東中学校校舎

- Q** 健康福祉課
- Q** 保育所入所児童負担金が、当初予算に比べて今年度は2.7%程度伸びているが15年度はどつであつたか。
- A** 保育所入所児童負担金が、15年度は延人数9、600人から165人の増加で、今年度は当初9、765人で255人の増加で10、020人を予定している。
- Q** 住民生活課
- Q** 生ごみ堆肥化事業の現状は。
- A** 現在月約3トンの生ごみを収集し、約2トンの堆肥が出来ている。堆肥は農林課を通じて蔬菜・サイ栽培農家、モニター、また生ごみを収集している地区の方に現在無償で提供している。
- Q** 学校教育課
- Q** 上東中学校活用基本計画策定委託料は、検討委員
- Q** 会が答申したものについて、具体的に事業が出来るか検討するためのものか。
- A** 上東中学校の活用は、7月から3回の検討委員会を開き町長へ9項目の答申がなされた。生涯学習センター、文化サークル、スポーツ施設、宿泊施設など、このような事業が実施出来るかという計画策定である。

# 安全・安心のまちづくりをめざして

## 農業経営の安定に向けて

産業建設常任委員会

- Q** 建設課
- Q** 町道の消雪施設を新たに設置できないか。
- A** 町単独の新規事業は困難であるが、地元負担2割で井戸の場所等があれば整備は可能。多くの要望が出れば予算の範囲内で順番となる。
- Q** 農業委員会
- Q** 農地流動化奨励補助金を、法人化していない営農組合にも奨励金として出せないか。
- A** 農事組合法人以外の営農組合、営農グループなどの団体は利用権設定ができないと解釈している。営農グループ、営農組合の方は個人名で契約となる。
- Q** 農林課
- Q** 今年熊が多く出没したが、今年度の教訓を生かし、来年度の取り組みは。
- A** 熊出沒に機敏な対応をと考えているが、柿の木、伐採など集落の方も対応してほしい。また、雑木林を間伐するなど熊の出にくい環境づくりを考えたい。
- Q** 水田農業経営体活性化対策事業をどのように進めているか。
- A** 可能なところは組織化を図られており、町として、農協の支店単位で地域営農体制を推進するソフト事業の支援を行っている。



新瀬戸台地営農組合入魂式

- Q** 下水道事業対策特別委員会
- Q** 中新川広域行政事務組合へ特定環境保全事業特環(を)移すと農業集落排水事業(農集)だけが町に残るのか。
- A** 公共下水道と特環は事務組合が事業主体となるのが本来の姿。事務的な窓口、広報、計画等については、町が事業主体となる。
- Q** 新瀬戸浄化センターの機械に異常音が出ていると聞くが。
- A** 浄化機のベアリング部分で、ベアリング交換が必要になった。
- Q** 工事に当たっては、地元民とも良く話し合い、埋設物、工事材料置場等で配慮してもらいたい。
- A** 慎重に誠意を持って工事を進める。



拡張工事が進む事務組合